

学校経営ビジョン

【学校経営の基本理念】

◆ “すべては小木中生徒のために” をスローガンに、そして、“魅力” をキーワードに、学校経営ビジョンを共有し、主任を中心とした組織的学校運営により学校の使命を果たし、生徒・教師・保護者・地域にとって『“魅力” ある学校』づくりをめざす。

※生徒にとっての魅力 ⇒ 自らの成長を実感できたとき

※教師にとっての魅力 ⇒ 生徒の成長に手応えを感じたとき

※保護者にとっての魅力 ⇒ 子どもの望ましい変容を見ることができたとき

※地域にとっての魅力 ⇒ 学校と地域との結びつきを実感できたとき

【学校教育目標】 意欲的に学び、心豊かでたくましい生徒の育成

【めざす生徒像】

◇粘り強く取り組む生徒《知》

◇礼儀正しく、自他を尊重する生徒《徳》

◇心身ともに健康で、命を大切にする生徒《体》

【めざす学校像】

◇生徒が安全に、安心して生活できる学校《最重要》

- ・教師と生徒、生徒同士の信頼関係を基盤に、生徒が充実感をもって生活できる学校
- ・生徒の安全を保障する教育環境の整備と生命を守る教育を実践する学校

◇「生きる力」を確実に育む学校

- ・教職員が絶えず研究と修養に努め、質の高い授業実践を行う学校
- ・生徒の学ぶ意欲を高め、学力の伸長を図る学校

◇家庭・地域の信託に応える開かれた学校

- ・地域の教育力を教育活動に活かし、積極的に情報発信する学校
- ・ふるさと小木に誇りを持ち、郷土を大切にする心を育てる学校

【めざす教師像】

◇心身ともに健康で、人間性豊かな教師⇒最優先は教師自身の心と体の健康

- ・校務の合理化・効率化⇒**時間は有限、使い方は無限**（ワーク・ライフ・バランス）
- ・「抱え込み」を排除し、チームによる迅速・誠実・的確な解決⇒協働性を高める
- ・「お互い様」の精神で！⇒同僚性を高める

◇指導力向上に努める教師⇒専門性を高める【見る目・感じる心・育てる技】

- ・「教師は授業で勝負する！」⇒“わかる”授業の実践（生徒指導は授業から！）
- ・いろいろな“**タイ**”の泳ぐ教育活動の実践
- ・次期学習指導要領改訂の趣旨理解・準備・実践
- ・意図的・計画的・組織的・継続的・**徹底的**な指導（5つの的）
- ・誰にでもできることを誰にもできないほど徹底（凡事徹底）

◇プロとしての自覚と使命感をもち、信頼される教師⇒明るく、熱く、温かく

- ・アンテナ高く、感度よく！
- ・個人情報 of 適正な管理を！（学校は個人情報の宝庫⇒重みと管理の大切さ）
- ・「ハウレンソウキ（報告・連絡・相談・記録）」の徹底⇒悪い情報ほど速やかに！
- ・「さ・し・す・せ・そ」を基本とした危機管理意識
- ・事故が発生したときには、全ての業務に優先して対応する
⇒事故を事件にしないための絶対条件！
- ・法令を遵守する教育公務員としての自覚（教育活動は全て法令に基づいている）
- ・信頼される教職員としての言動、身だしなみ⇒率先垂範

【5つの重点目標】

1. 確かな学力の育成

①「主体的・対話的で深い学び」の実践

- ・わかりやすい授業づくりに努め、生徒に「わかった・できた」喜びを味わわせる
- ・個で考えたり他と考えを交流したりする中で、思考を深めたり広げたりできるように授業をコーディネートする
- ・生徒指導の3機能（「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」）を生かした授業づくりを推進する
- ・キャリア教育の充実を図る
- ・家庭と連携し、家庭学習の習慣化と量的・質的充実を図る

②各種学力調査の有効活用

- ・結果の分析を生かし、個別指導の充実と指導改善を図る

③学習環境の整備・充実

- ・学習規律・学習ルールを定着させ、安心して学べる環境づくりに努める
⇒チャイムスタート・チャイムエンドの徹底、「課題の提示」と「まとめ・振り返り」を工夫した指導過程
- ・毎月1回安全点検を実施するとともに、掲示物・展示物等学習環境の整備に努める

2. 生徒理解を基盤とした生徒指導の充実

①「居場所づくり」「絆づくり」の推進⇒自己存在感をもたせ、自尊感情を育む

- ・達成感・充実感の高まる諸活動の推進（教師主導から生徒主導の企画・運営へ）

②コミュニケーション能力の育成

- ・いつでも、どこでも、だれにでも気持ちのよい挨拶・言葉遣いができる生徒を育成する
- ・生徒会活動や異学年交流を充実させ、人間関係づくりに生かす

③いじめ・不登校を生まない学校づくりの推進

- ・3かけ（目・声・手間）を励行する
- ・アンケート等を生かした学級経営を行い、いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期対応に努める

④道徳教育・読書活動の充実

- ・推進教師を中心に、「特別の教科 道徳」の趣旨を踏まえた授業実践を推進する
- ・道徳ノートを効果的に活用する
- ・家庭と連携し、読書習慣の定着を図る

⑤特別支援教育の充実

- ・コーディネーターを中心に、指導体制・校内研修を充実させる
- ・関係機関との積極的な連携に努める

3. 健康教育・安全教育の推進⇒最優先は、子どもの“生命・安全・安心・健康”

①「体力アップ1校1プラン」の実践

- ・体育の授業及び部活動の充実に努める

②望ましい生活習慣・食習慣の確立

- ・家庭と連携して、インターネット等のルール遵守と早寝・早起き・朝ご飯を徹底する

③防災教育の継続・発展と安全教育の推進

- ・避難訓練や防災・防犯教室等を通して、危険予知能力や危険回避能力の育成を図る
⇒最悪の事態を想定して、最善の準備をする

4. 地域に根ざした特色ある教育の推進

①ふるさと学習・海洋教育の推進

- ・地域人材・伝統・環境等の特徴を生かす中で、教育活動のさらなる充実を図る
- ・地域行事に積極的に参加させる

②小学校との連携の推進

- ・9年間の系統的な指導のさらなる充実を図る（中1ギャップの未然防止）

5. 「開かれた学校」・「信頼される学校」づくりの推進

①保護者との密な連携と信頼関係の構築

- ・学校と家庭が子どもについて共通理解し、協力してよりよい指導に努める
- ・授業参観や学校公開（週間）を定期的に開催する

②積極的な情報発信

- ・各種たよりやホームページ等の充実と活用を図る
- ・緊急メールシステムを有効に活用する

③心身ともに健康で、信頼される専門的な資質・能力を身につけた教職員の育成

- ・研修会や研究発表会等へ積極的に参加する
- ・校務の合理化・効率化とワーク・ライフ・バランスを図る
- ・法令や服務規律を遵守する

④組織的な学校運営と教育環境の整備

- ・主任を中心とした組織的な校内指導体制を確立する
- ・人事評価制度・OJT・OffJTを活用して、ライフステージに応じた人材を育成する
- ・学校評価結果を、学校教育活動の改善に生かす
- ・危機管理体制（危機管理意識の高揚、危機回避の協働体制の確立）を整備する

⑤生徒と向き合う時間の確保

- ・最終退校時刻（20時）・定時退校日（原則第2水曜日）の設定と遵守
- ・部活動時間の遵守とノ一部活動デー（原則週2日：日曜日と水曜日）の設定と遵守